

地方人口減少県の現状

山梨県を題材に

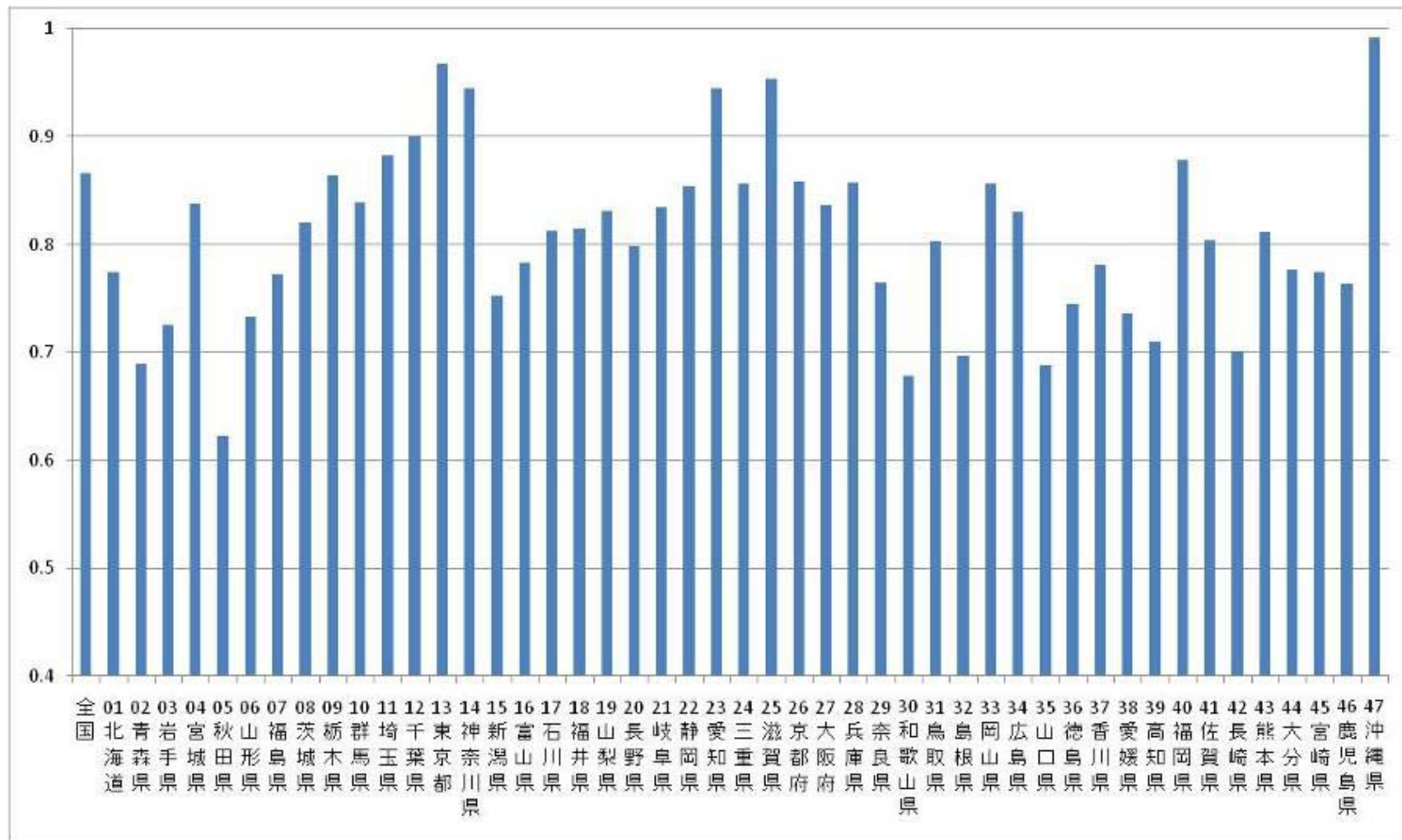
社会資本整備審議会
都市計画・歴史的風土分科会都市計画部会
都市政策の基本的な課題と方向検討小委員会

東京工業大学社会理工学研究科
中井 検裕
nnakai@soc.titech.ac.jp

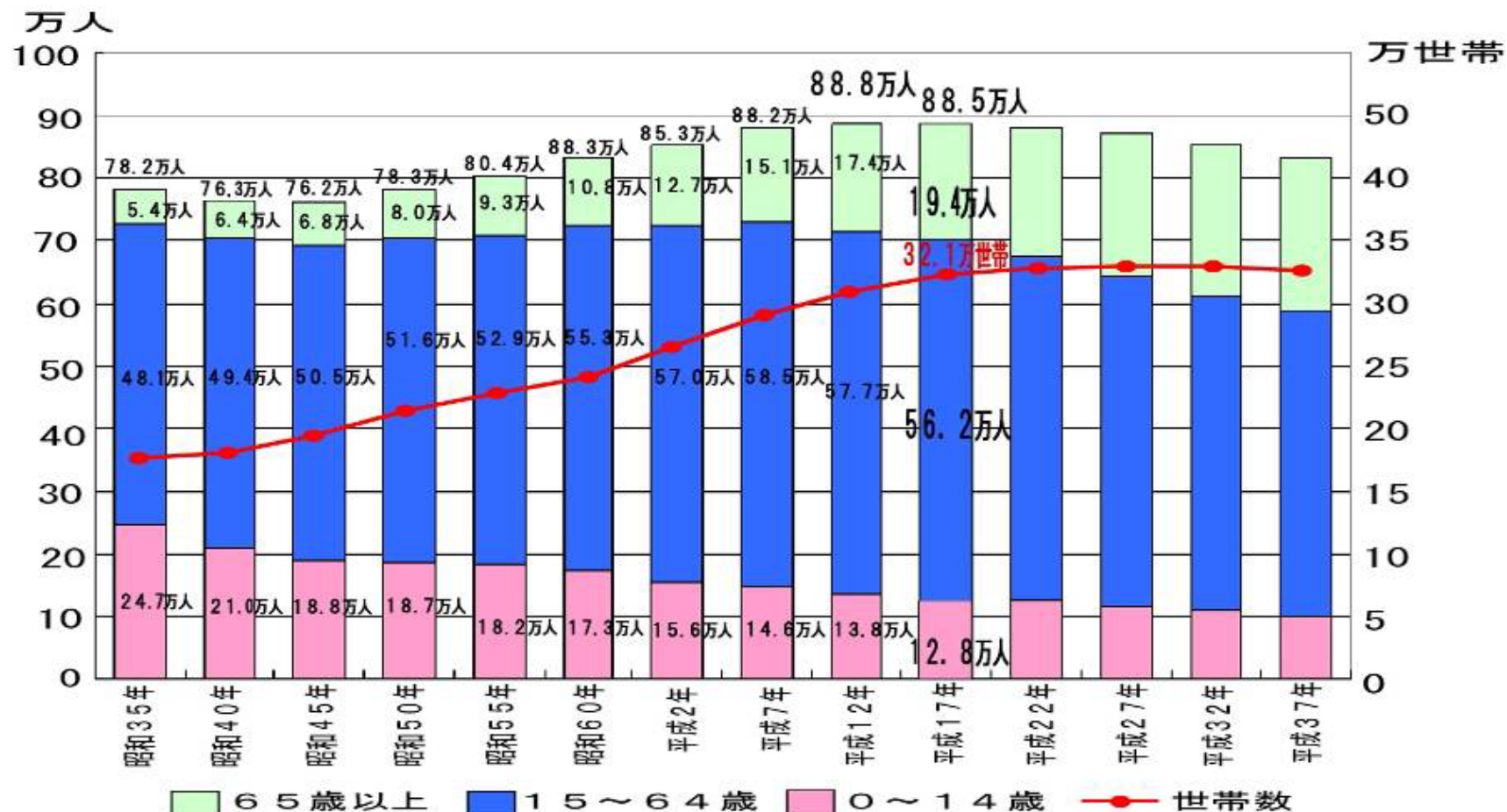
長期人口減少傾向の開始年

1985年まで	秋田	1
1990年まで	青森、山形、和歌山、鳥取、島根、山口、愛媛、高知、長崎、大分、鹿児島	12
1995年まで		
2000年まで	北海道、岩手、福島、新潟、富山、広島、徳島、香川、佐賀、熊本、宮崎	23
2005年まで	宮城、茨城、群馬、石川、福井、長野、山梨、岐阜、奈良	32
2010年まで	栃木、静岡、三重、京都、大阪、兵庫、岡山、福岡	40
2015年まで	埼玉、千葉	42
2020年まで	神奈川、愛知、滋賀	45
2025年まで	東京	46
2030年まで	沖縄	47

ピークに対する2035年の人口割合



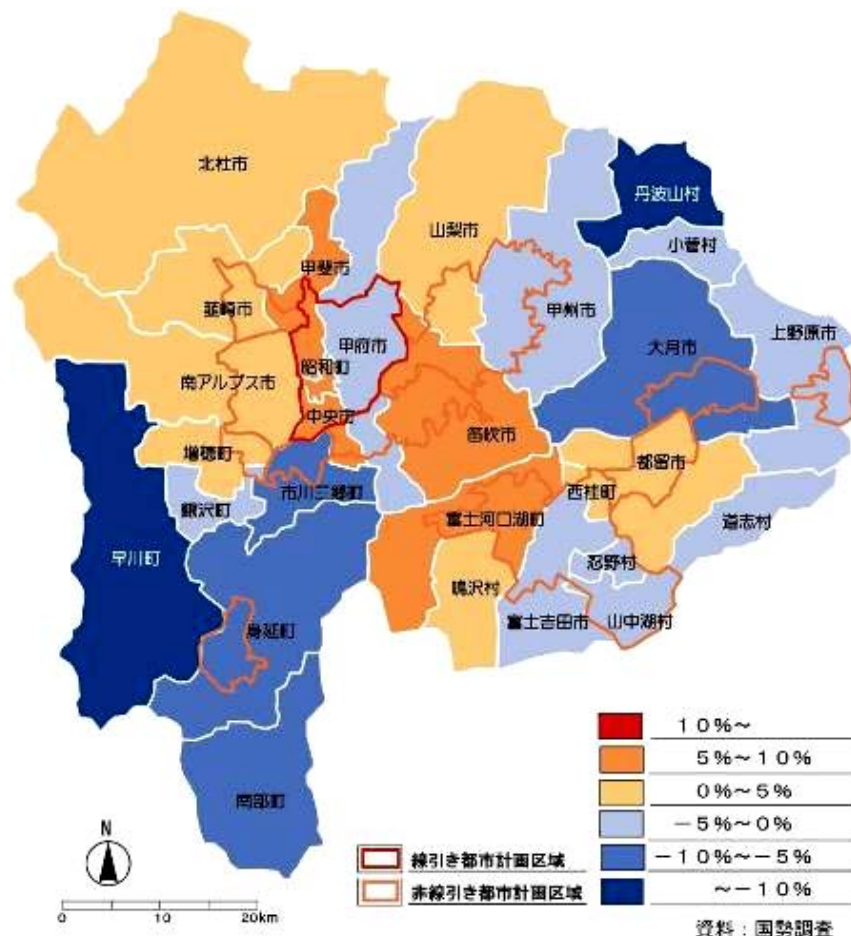
山梨県の人口推移と将来予測



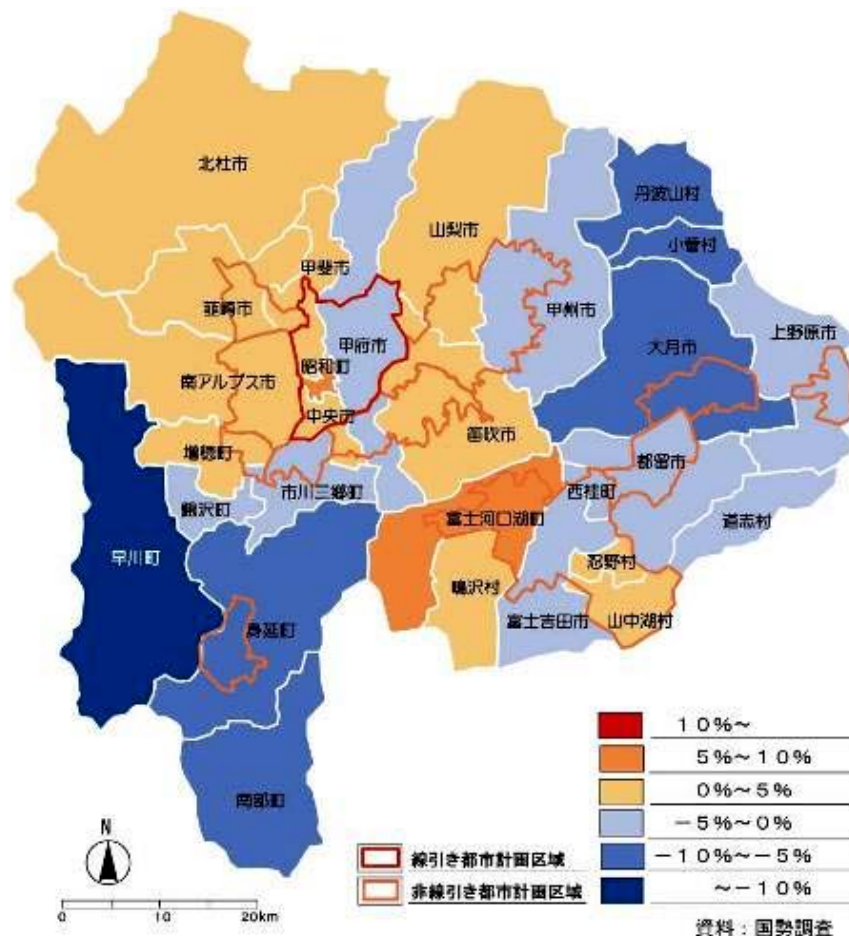
資料:国勢調査、平成17年は速報値。将来予測は、国立社会保障人口問題研究所 都道府県の将来推計人口平成14年3月(日本の将来推計人口平成14年1月の中位推計がベース)による。

市町村別人口増減状況

H7～H12

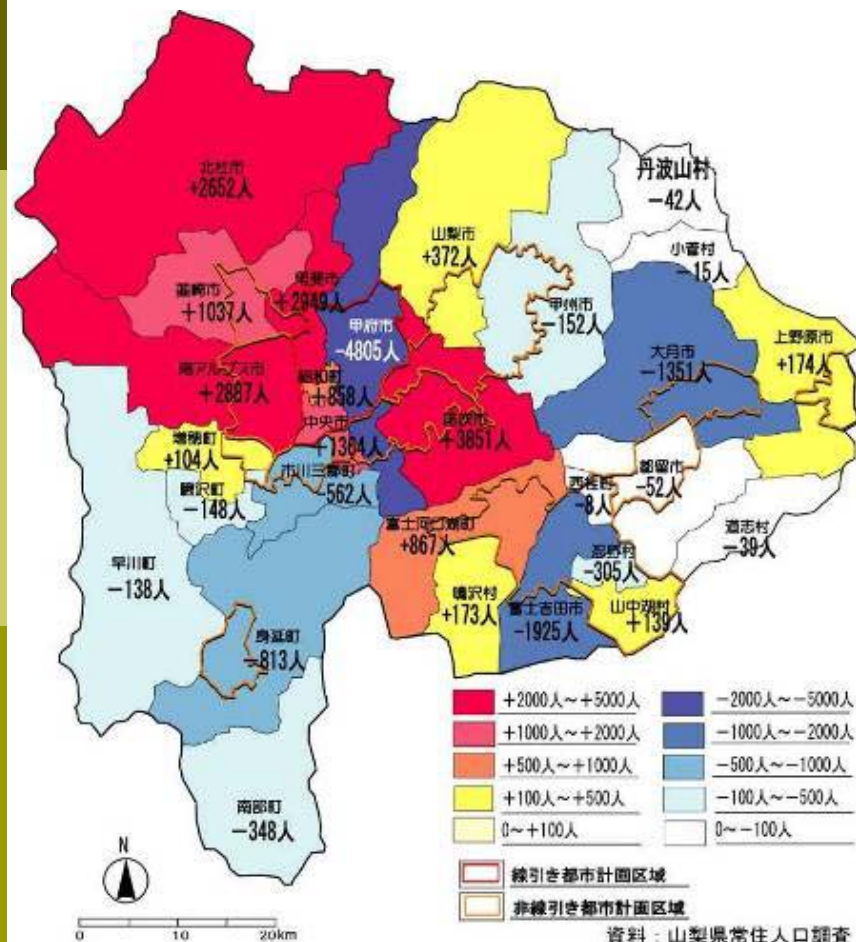


H12～H17

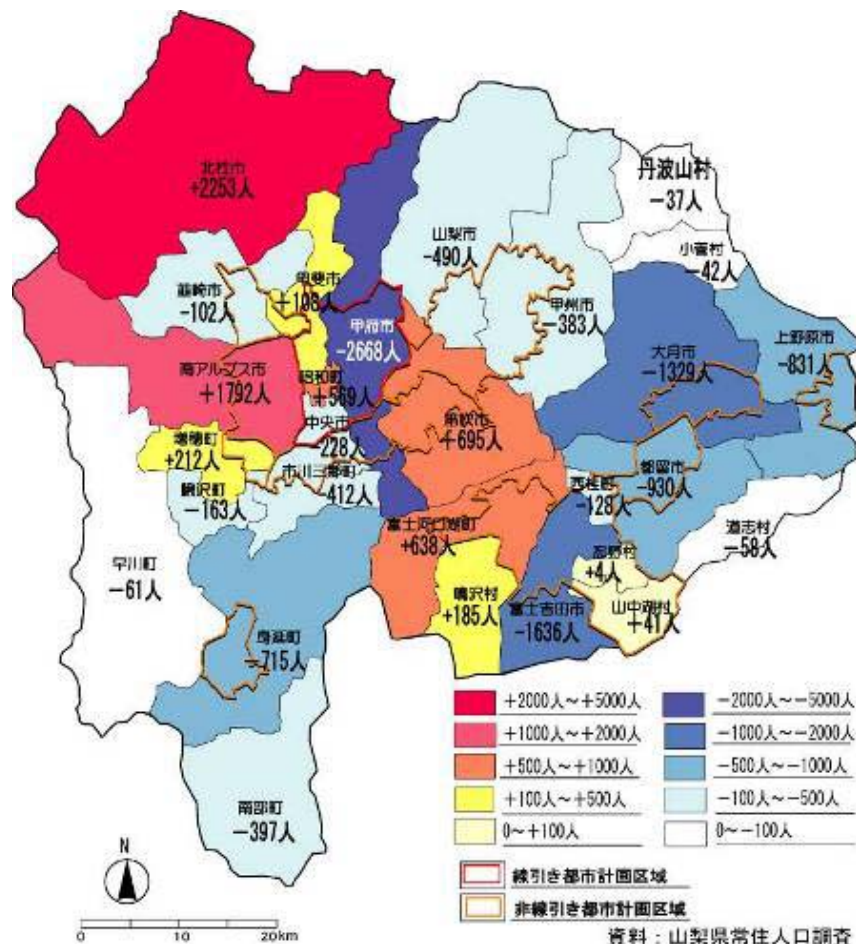


市町村別社会増減人口

H7~H12



H12~H17

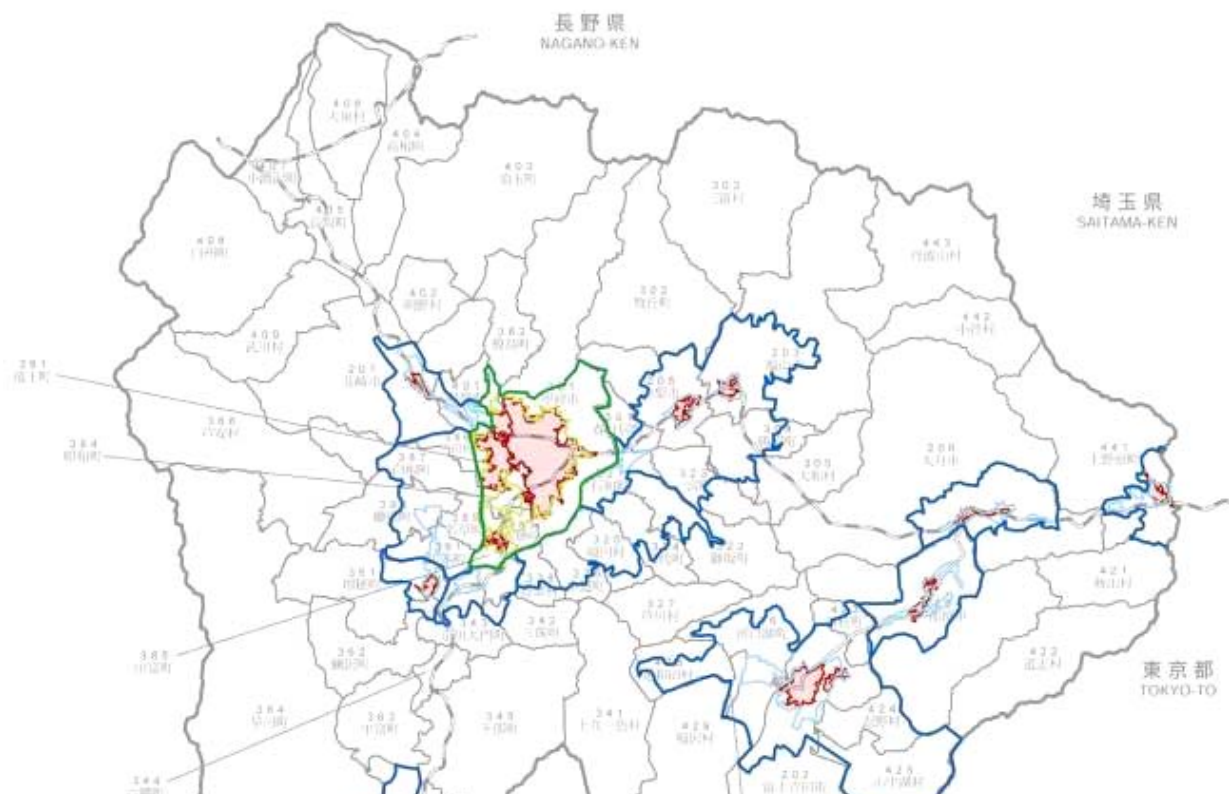


居住密度

		全国	山梨県	全国都道府県 順位
総面積		377, 907k m ²	4, 465 k m ²	面積割合 32位
可住地 割合		32. 6%	21. 3%	44位
居住 密度	総面積 当たり	342. 4人／ km ²	198. 3人 ／km ²	31位
	可住地 面積当 たり	1052. 0人 ／km ²	931. 9人 ／km ²	18位
人口集中地 区人口比率 (総人口当 たり)		65. 2%	34. 7%	39位

※人口・面積は2004年値、人口集中地区人口比率は平成7年値
資料：社会生活統計指標2006 総務省統計局

山梨県の人口集中地区の状況

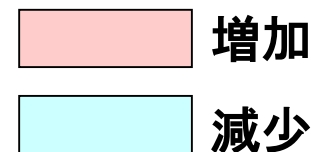


項目	H7年	H12年	H17年	増減率 (H7-H12)	増減率 (H12-H17)
人口 (人)	311, 019	308, 614	304, 581	-0. 8%	-1. 3%
面積 (K m ²)	62. 1	63. 15	63. 89	1. 7%	1. 2%
人口密度 (人/K m ²)	5, 008	4, 887	4, 767	-2. 4%	-2. 5%

都市別人口集中地区の状況

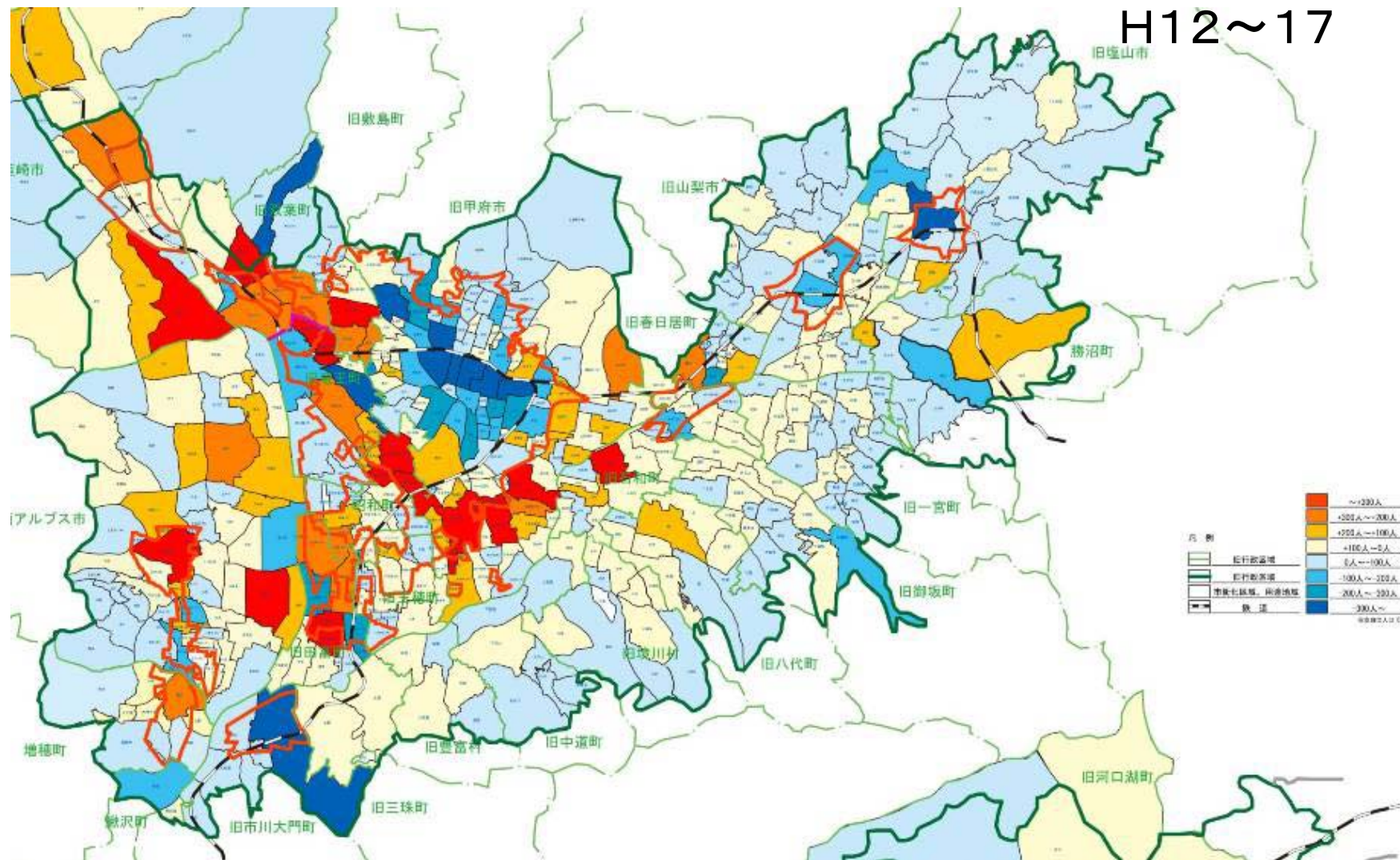
項目	地域名	平成7年	平成12年	平成17年	増減率 (H7-H17)
人口 (人)	山梨県計	311,019	308,614	304,581	-2.1%
	甲府市	173,858	168,833	164,806	-5.2%
	富士吉田市	35,476	34,104	32,280	-9.0%
	甲州市	7,553	6,794	6,267	-17.0%
	都留市	10,421	9,626	9,267	-11.1%
	山梨市	7,201	6,952	6,651	-7.6%
	大月市	6,765	5,971	5,057	-25.2%
	韮崎市	5,951	5,047	5,095	-14.4%
	甲斐市	39,523	48,417	52,140	31.9%
	中央市	7,485	7,757	8,200	9.6%
	上野原市	11,004	9,832	9,423	-14.4%
	増穂町	5,782	5,278	5,395	-6.7%
面積 (Km ²)	山梨県計	62.1	63.15	63.89	2.9%
	甲府市	31.8	31.82	32.22	1.3%
	富士吉田市	7.7	7.65	7.61	-1.2%
	甲州市	1.8	1.74	1.73	-3.9%
	都留市	2.1	1.98	1.95	-7.1%
	山梨市	2.1	2.06	2.09	-0.5%
	大月市	1.8	1.72	1.48	-17.8%
	韮崎市	1.5	1.36	1.29	-14.0%
	甲斐市	8.1	10.03	10.7	32.1%
	中央市	1.4	1.41	1.50	7.1%
	上野原市	2.2	1.95	1.89	-14.1%
	増穂町	1.5	1.43	1.44	-4.0%

H7~H12



甲府市及びその周辺の人口増減

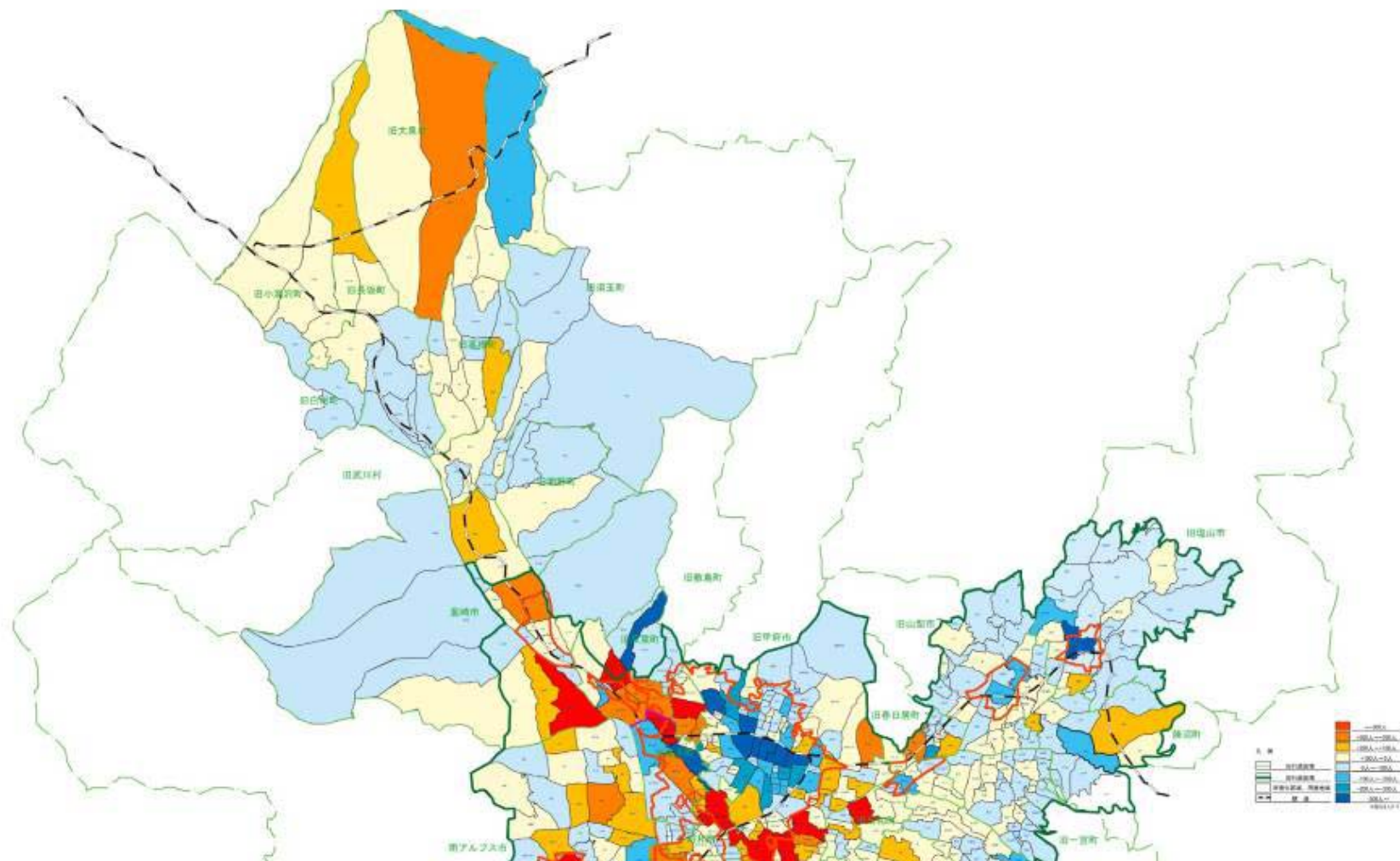
H12～17



資料: 国勢調査

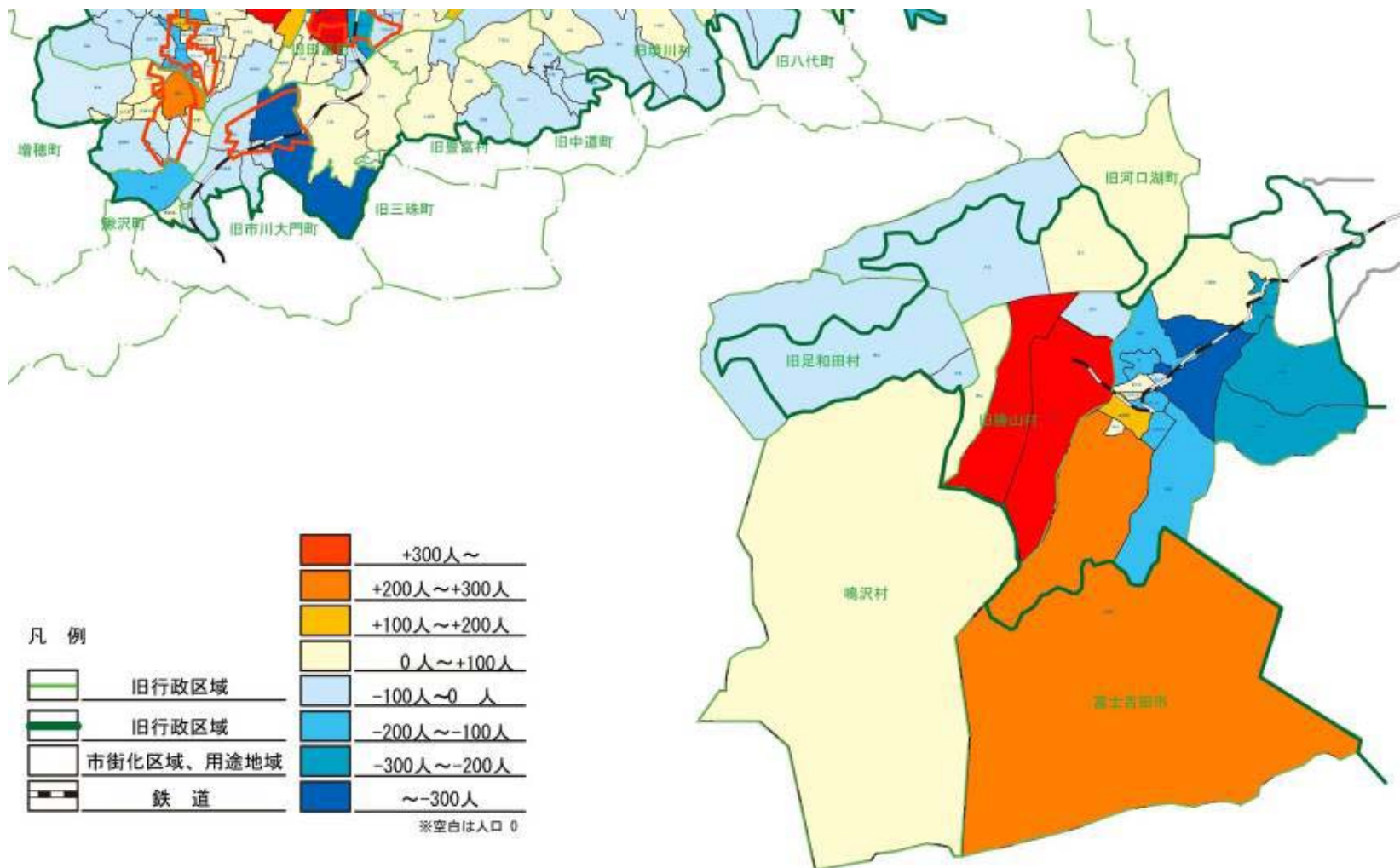
北杜市及びその周辺の人口増減

H12~17



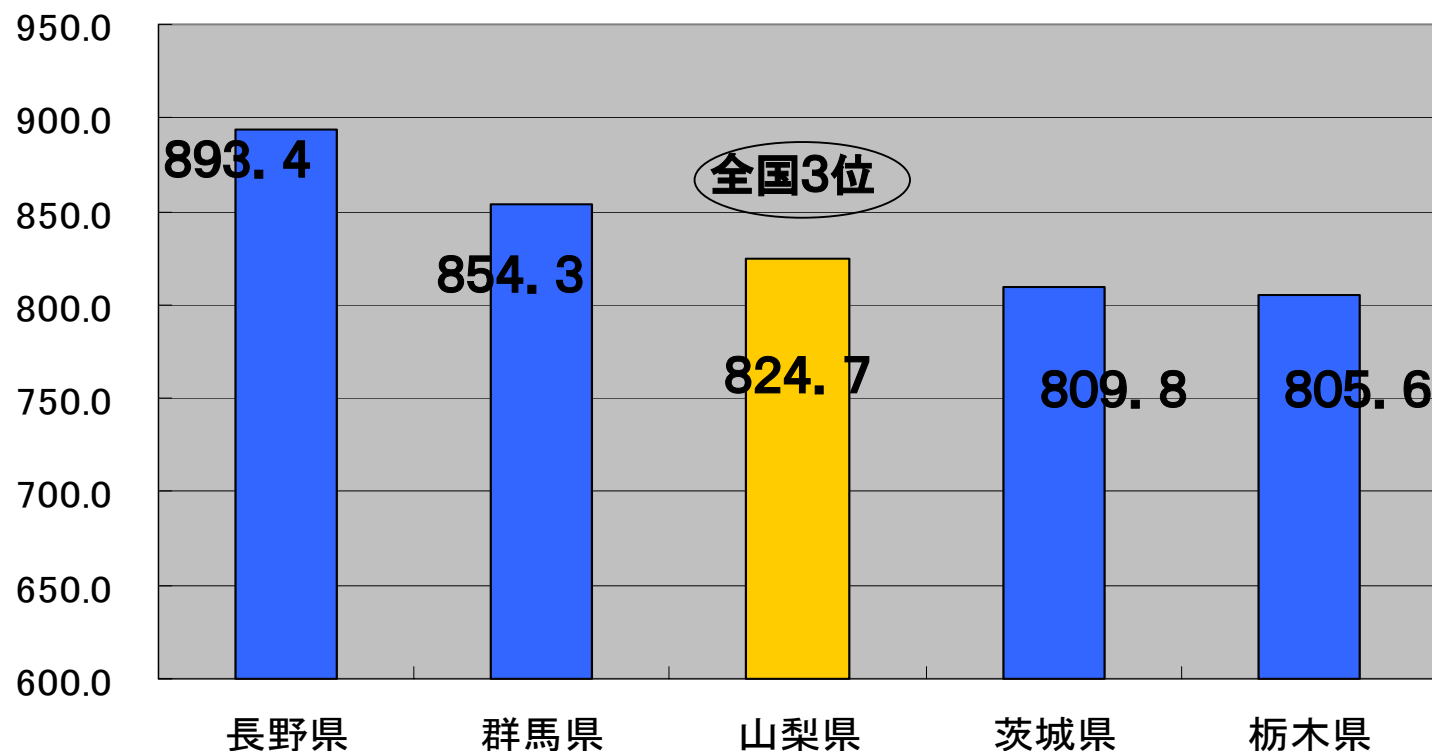
鳴沢村及びその周辺の人口増減

H12～17



モータリゼーションの進展

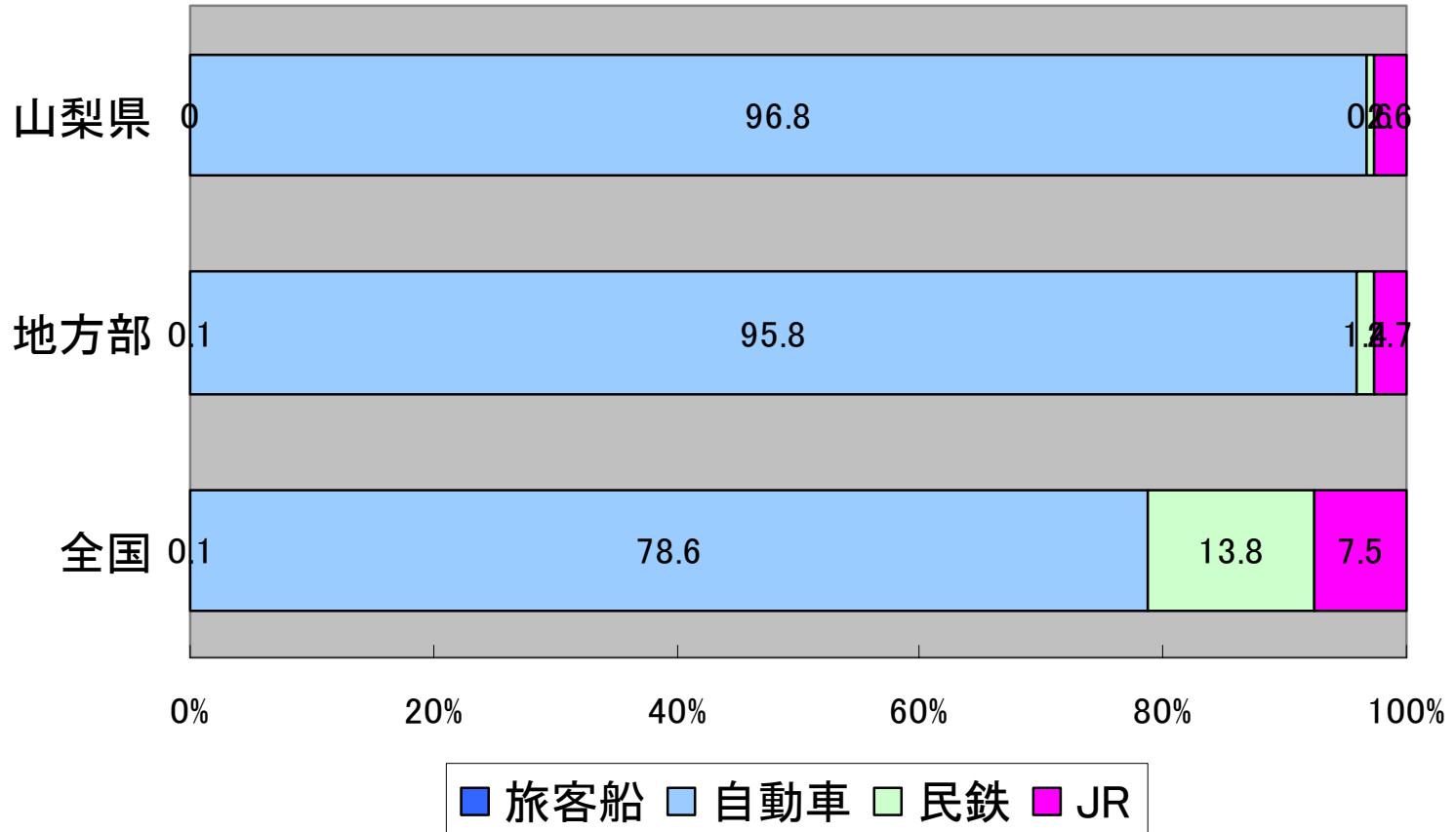
台 県人口1000人当たり自動車保有台数(平成17年9月末)



※保有台数は、乗用車、トラック、バス、特殊用途車、被けん引車、二輪車（二輪車の原付第一・第二は不詳）の合計。（国土交通省調）人口は平成17年国勢調査速報値

圧倒的な自動車による移動

旅客の輸送機関別分担率(平成16年度)

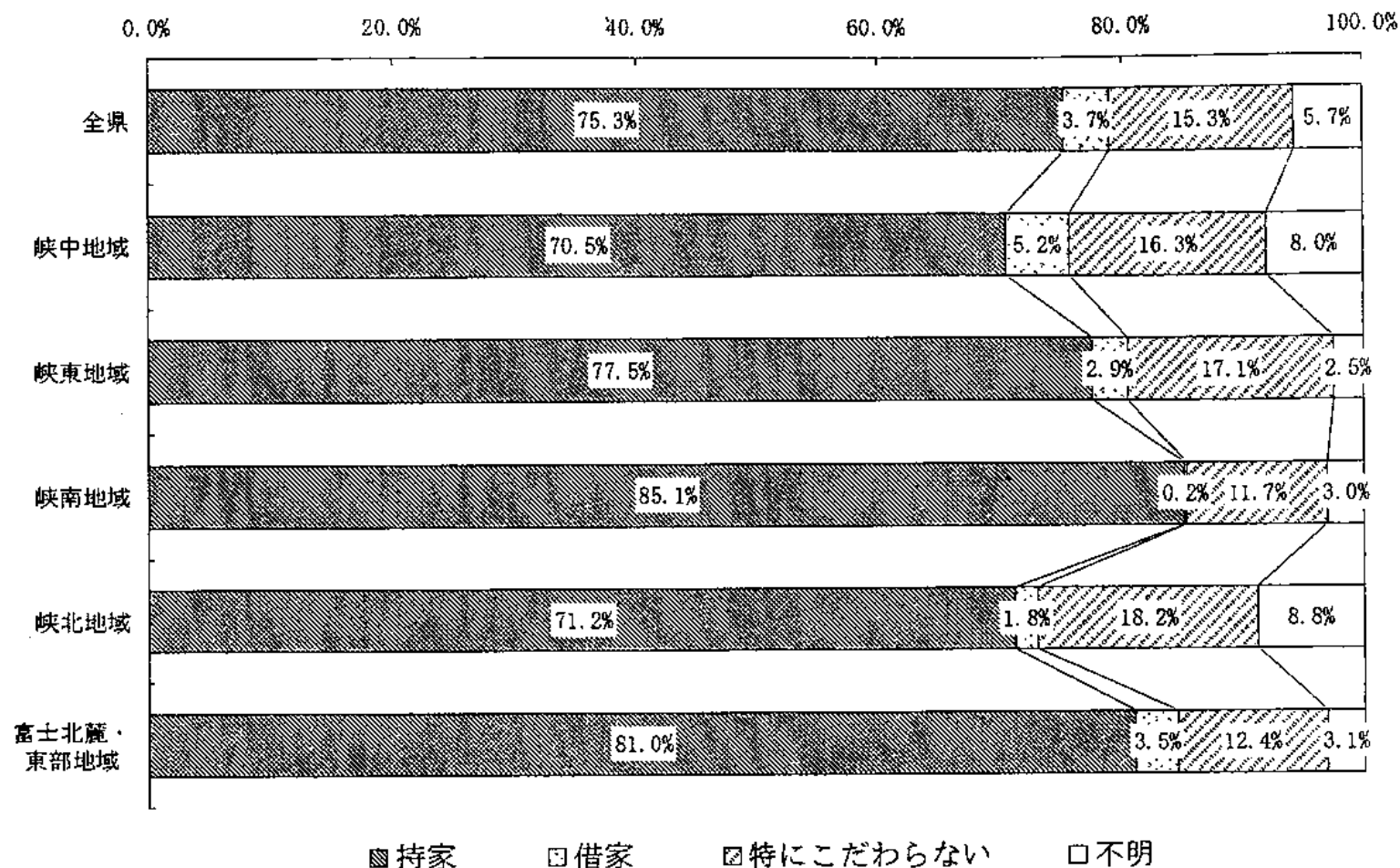


資料:貨物旅客地域流動調査(H16国土交通省)

県民の居住意向

【所有形態の意向】

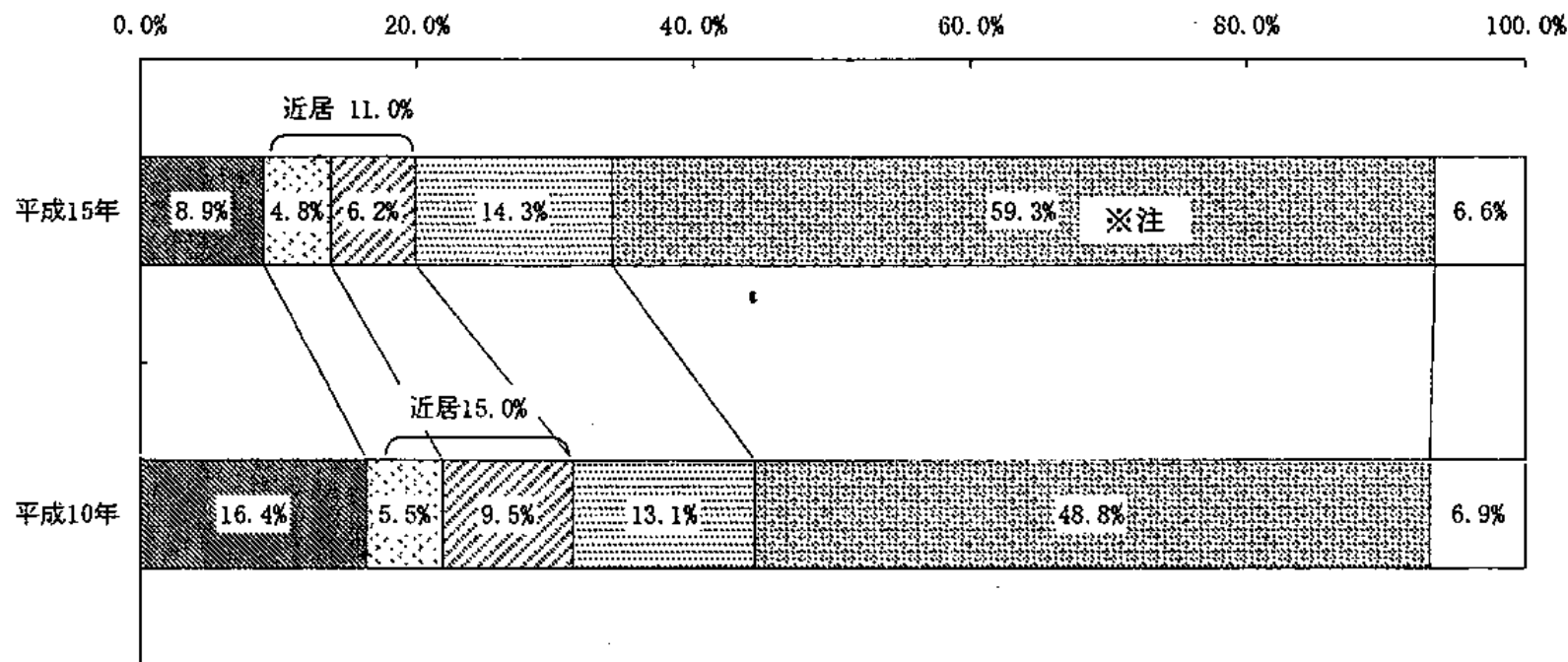
持家意向は県全体で75%と圧倒的に高い。峡中(甲府及びその周辺)では約7割。



資料:平成15年住宅需要実態調査結果報告(山梨県土木部住宅課)

高齢世帯の子供との同居割合

同居又は近居の割合は下がっており、平成15年には他市町村居住が4割近くに達している。



■同居している (二世帯住宅を含む)

□同一敷地内、又は同一住棟 (長屋・共同) の別の住宅に居住

■すぐ近く (歩いて10分以内) に住んでいる

■同一市区町村内に住んでいる

■その他

□不明

※注

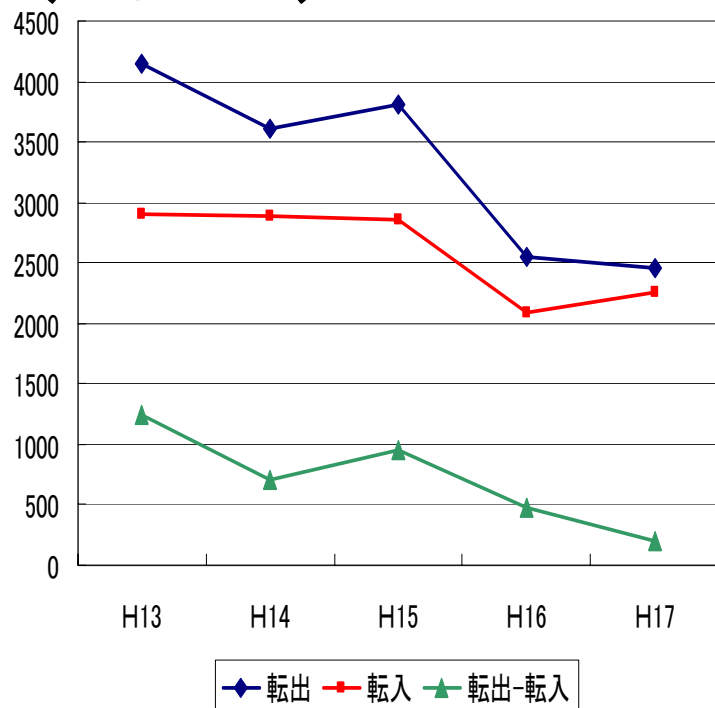
平成15年は「同一市区町村外に住んでいる」(37.1%)

「別世帯の子はいない」(22.2%)。

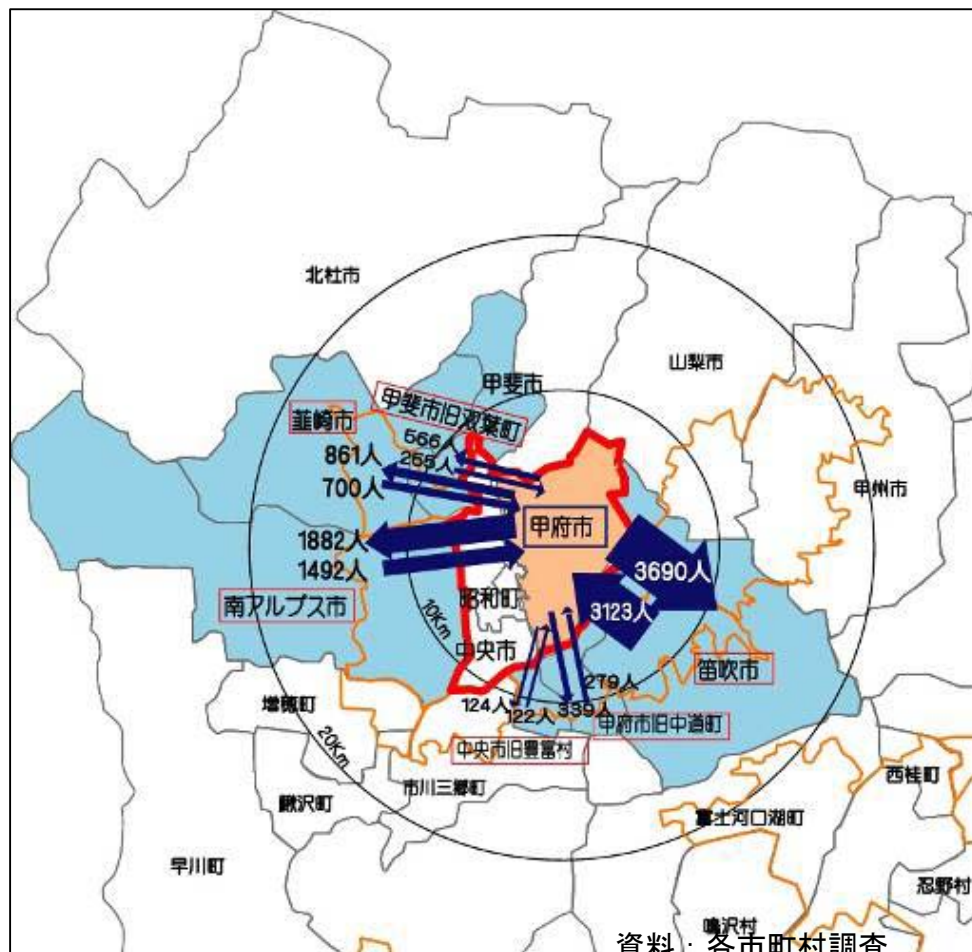
平成10年は「子供とは関係なく住んでいる」(32.2%) 「その他」(16.6%)。

転出入の動き(甲府都市計画区域)

甲府市都市計画区域からの近年の転出入人口の変化
(H13～H17)



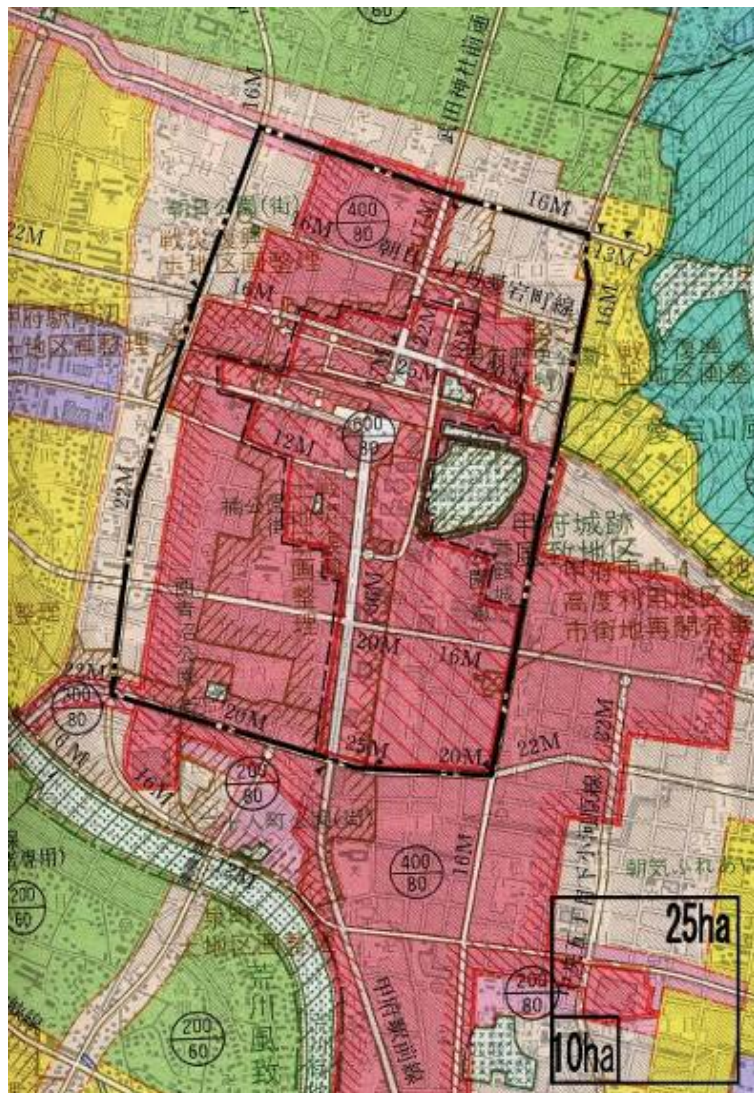
旧甲府市での主な転出入人口の動き
(H13～H17)



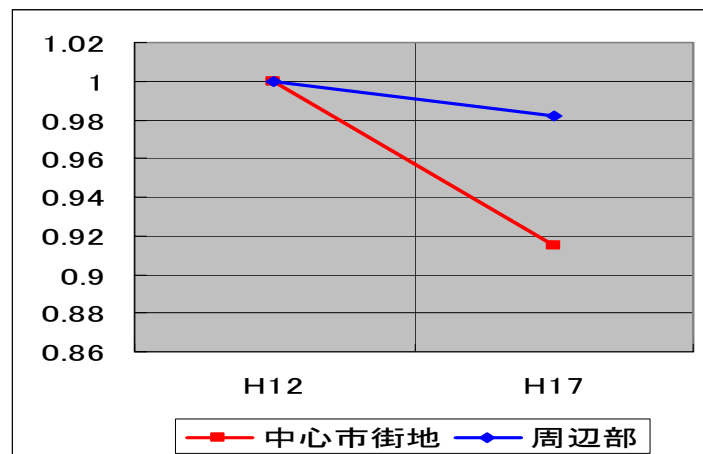
資料：各市町村調査

甲府市中心市街地の状況

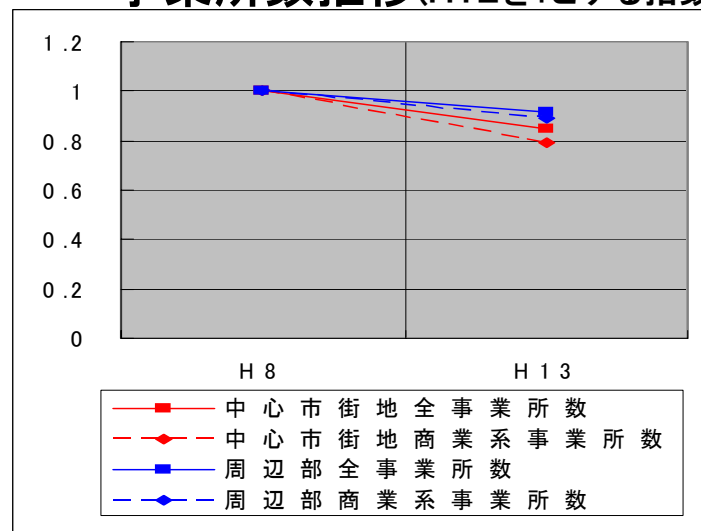
甲府市中心市街地



人口推移(H12を1とする指数)

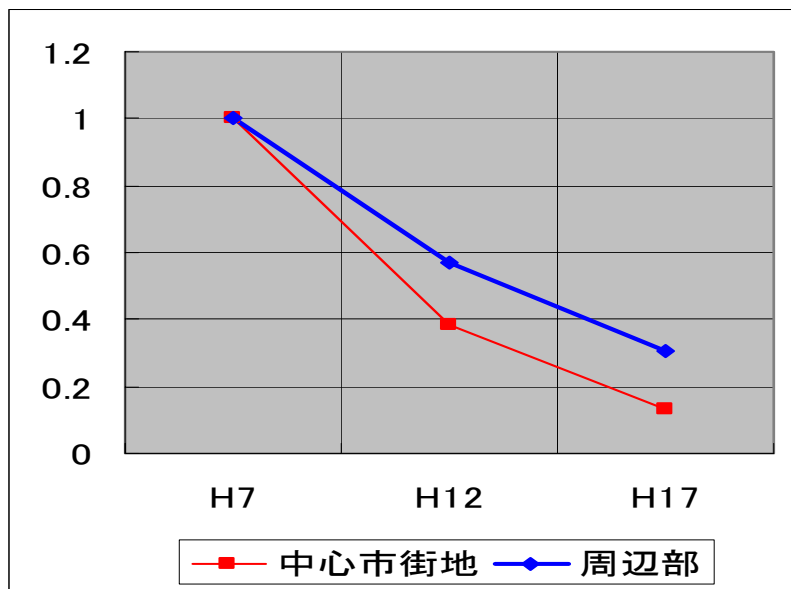


事業所数推移(H12を1とする指数)

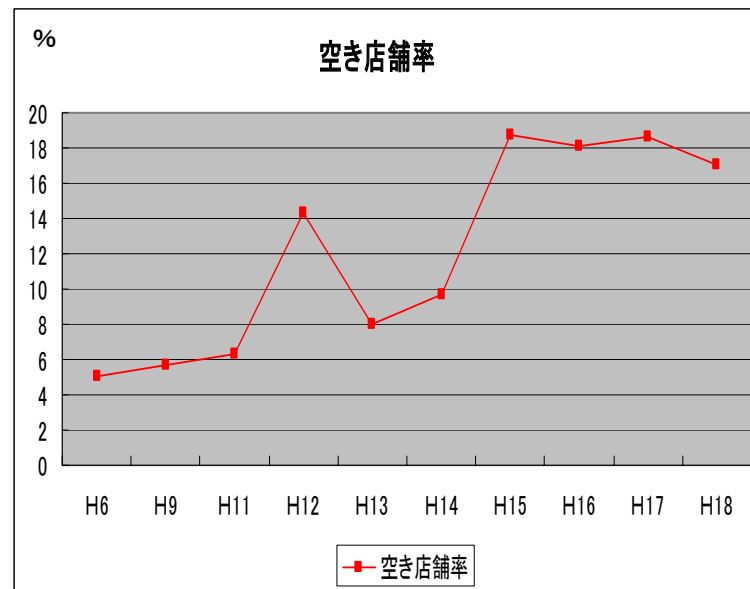


甲府市中心市街地の状況

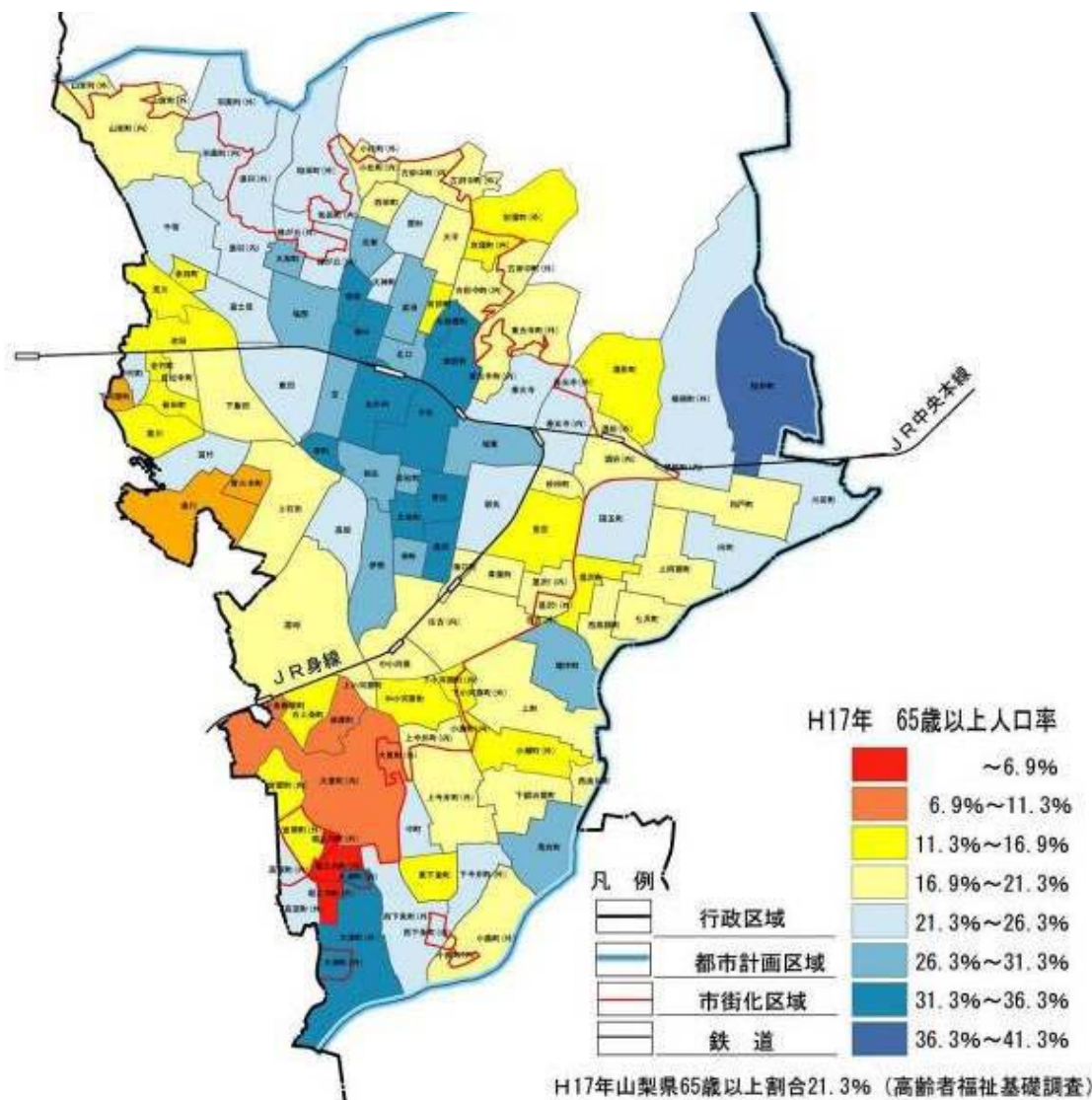
地価水準の推移(H7を1とする指数)



空き店舗率



甲府市における人口の高齢化状況







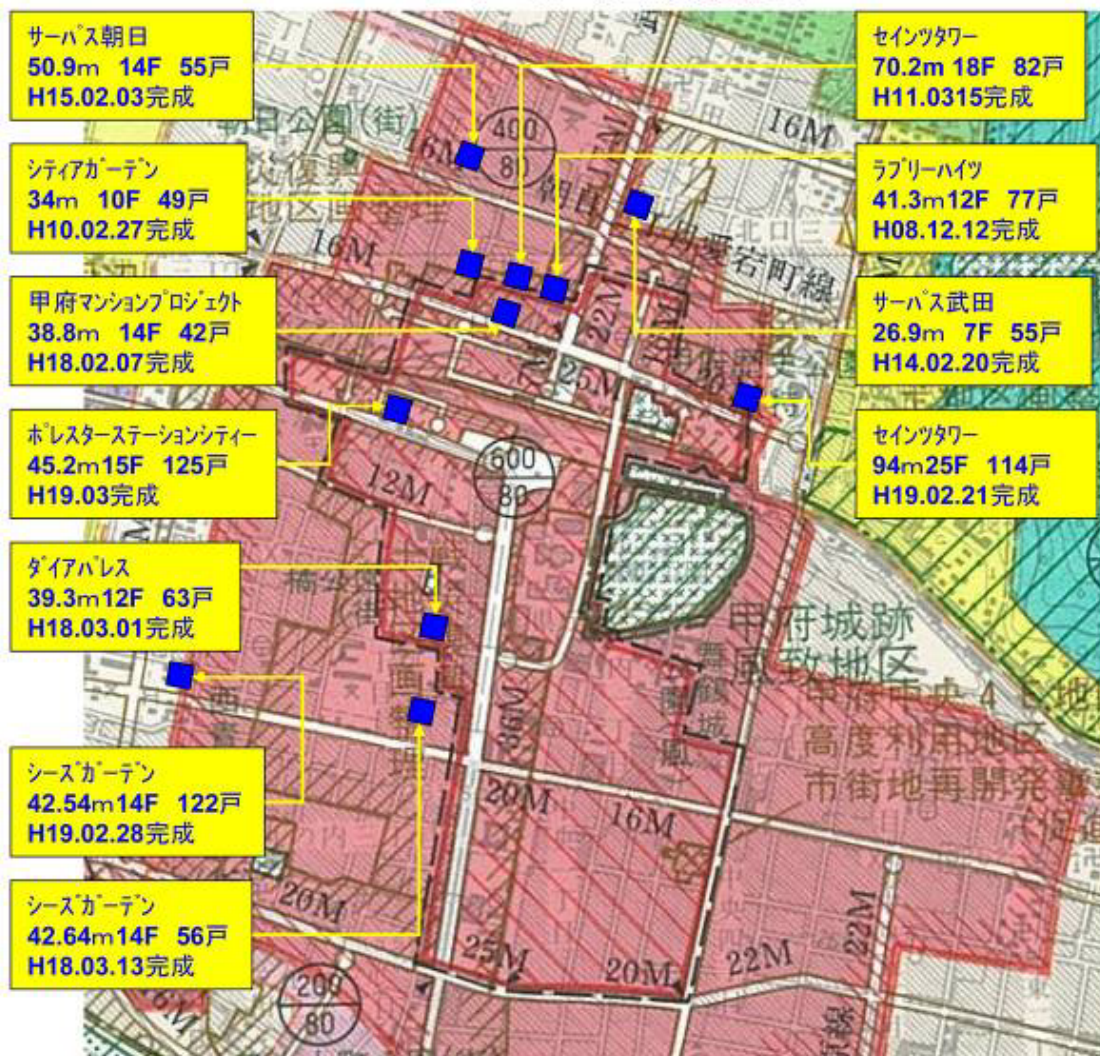






甲府市中心部

マンション建設状況

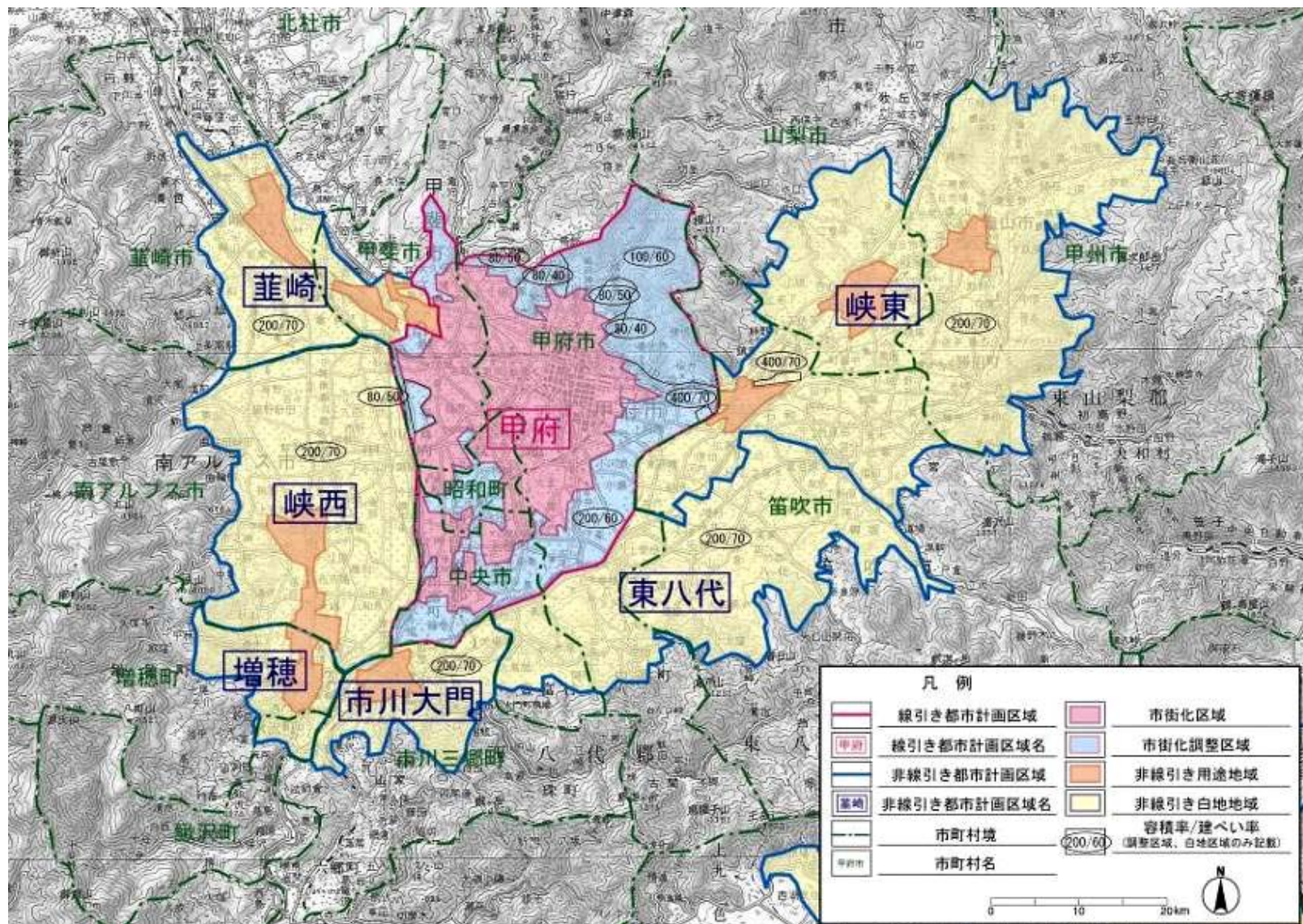


凡例

■ 完成済
11棟 840戸



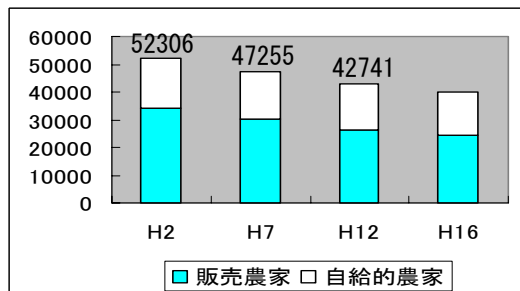
甲府都市圏の線引き、非線引き等の状況



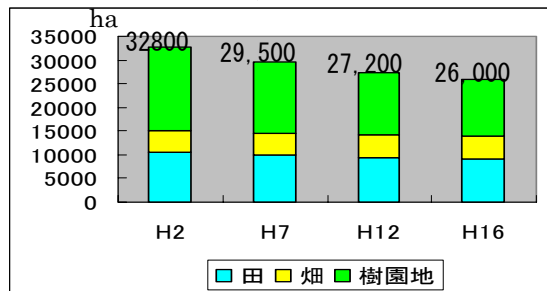
農業の実態

農用地面積は、平成4年より5,360ha、**17.1%減少**

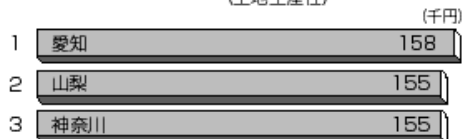
農家数の推移



耕地面積の推移



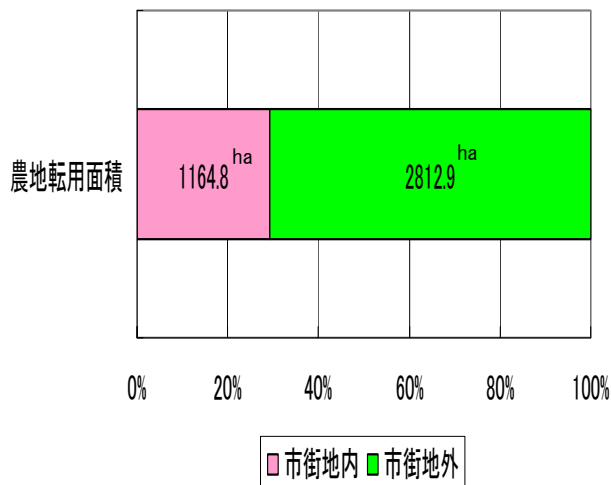
● 耕地10アール当たり
生産農業所得の全国順位(平成15年)
(土地生産性)



資料：生産農業所得統計

全国 78千円

都市計画区域内の農地転用状況 (過去10年間)



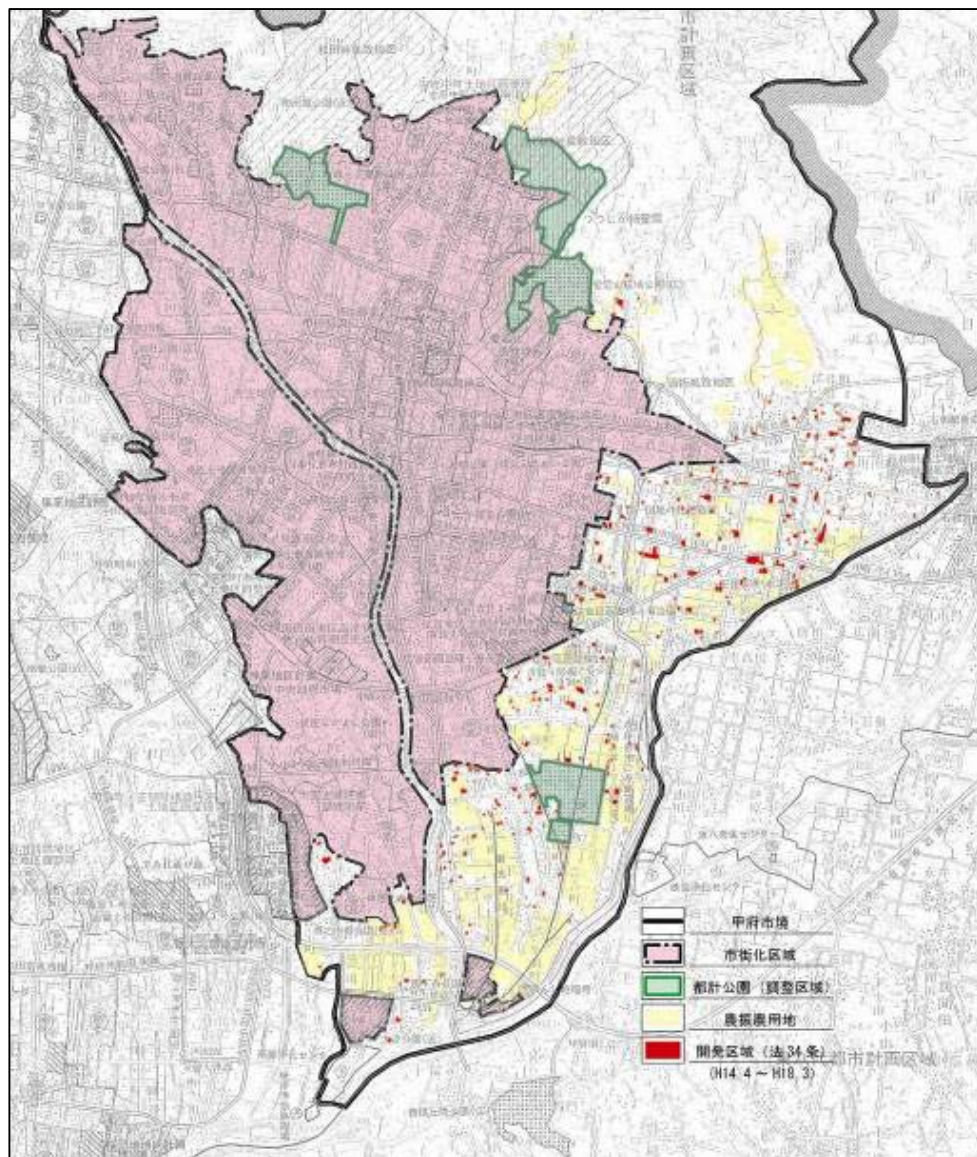
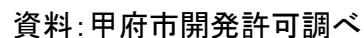
資料：都市計画基礎調査







開発許可動向



中央市医大南部 土地区画整理事業

(設計図)

(事業の概要)

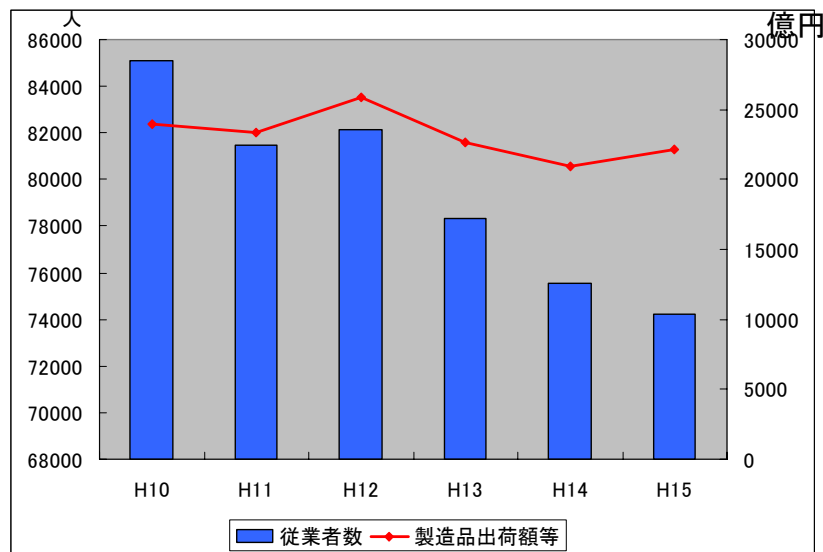


施工者名 中央市（公共団体施行）
住 所 中央市 成島2266番地
施工場所 中央市 西新居・成島・下河東
施工面積 49.4ha（約15万坪）
総事業費 85億4,000万円
平均減歩 32.10%
土地所有者 220人・879筆
計画道路 106路線 13,403m
計画公園 5箇所 15,822m
計画河川 3路線 1,975m
施行期間 自平成13年6月22日
至平成20年3月31日
問合せ先 中央市都市計画課
電話番号 055-274-8552



工業の実態

製造品出荷額等と製造業従業者の推移



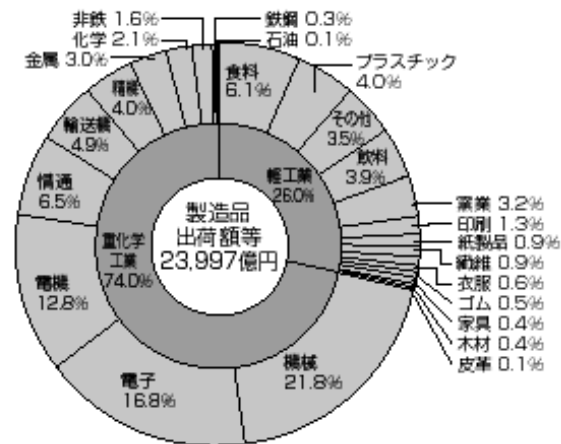
●出荷額が全国の上位を占める主な地場産業(平成15年)

品 目	出荷額	全国シェア	順位
	百万円	%	位
貴 金 属 製 品	46,544	31.3	1
果 実 酒	16,479	29.5	1
※電子回路形成用 処理装置	97,829	20.3	1
半導体製造装置の部分品・ 取付具・付属品	22,313	7.2	3
ミネラルウォーター	9,858	20.5	2
障子紙・書道用紙	1,551	18.3	2

※半導体製造装置の一つ

資料：工業統計表 品目編

●産業別製造品出荷額等(平成16年)



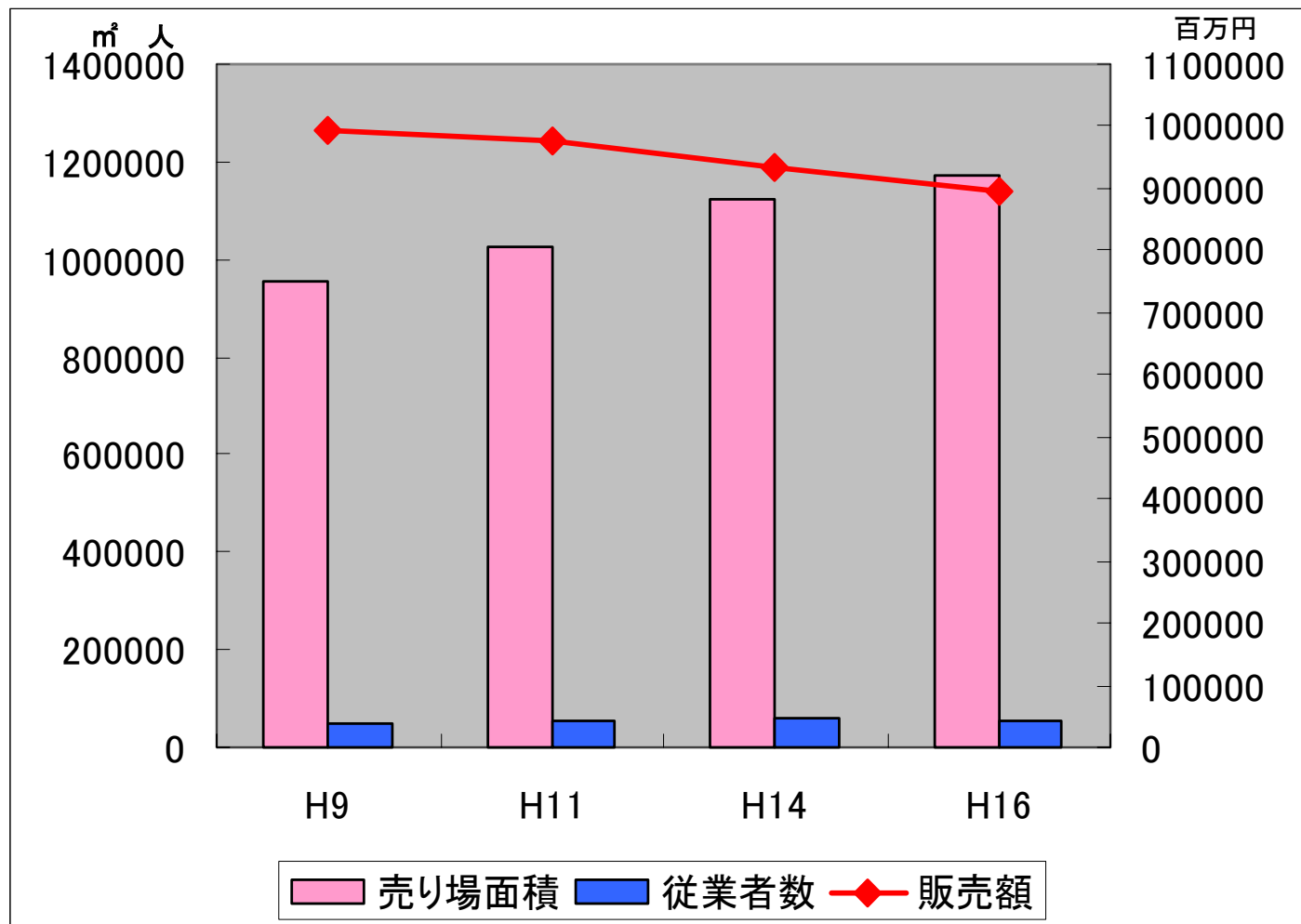
〈構成比については、単位未満を四捨五入しているため、
総数と内訳の合計が必ずしも一致しません。〉

資料：工業統計調査結果速報

従業員4人以上の事業所

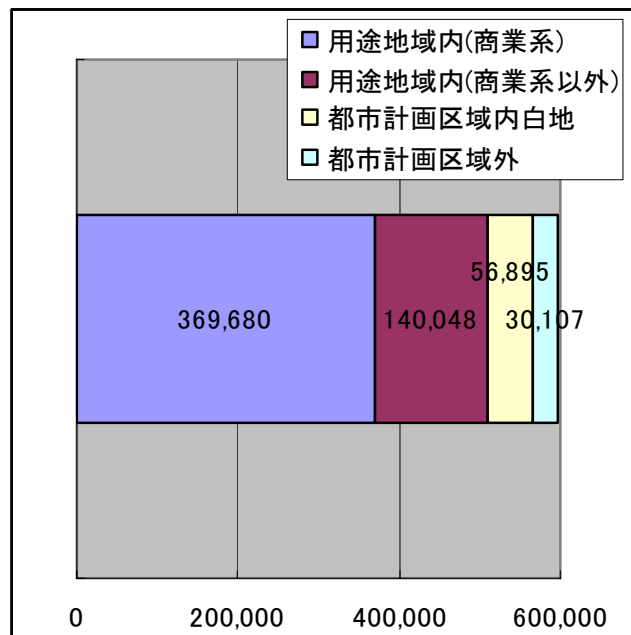
小売商業の実態

小売業販売額・従業者・売り場面積の推移

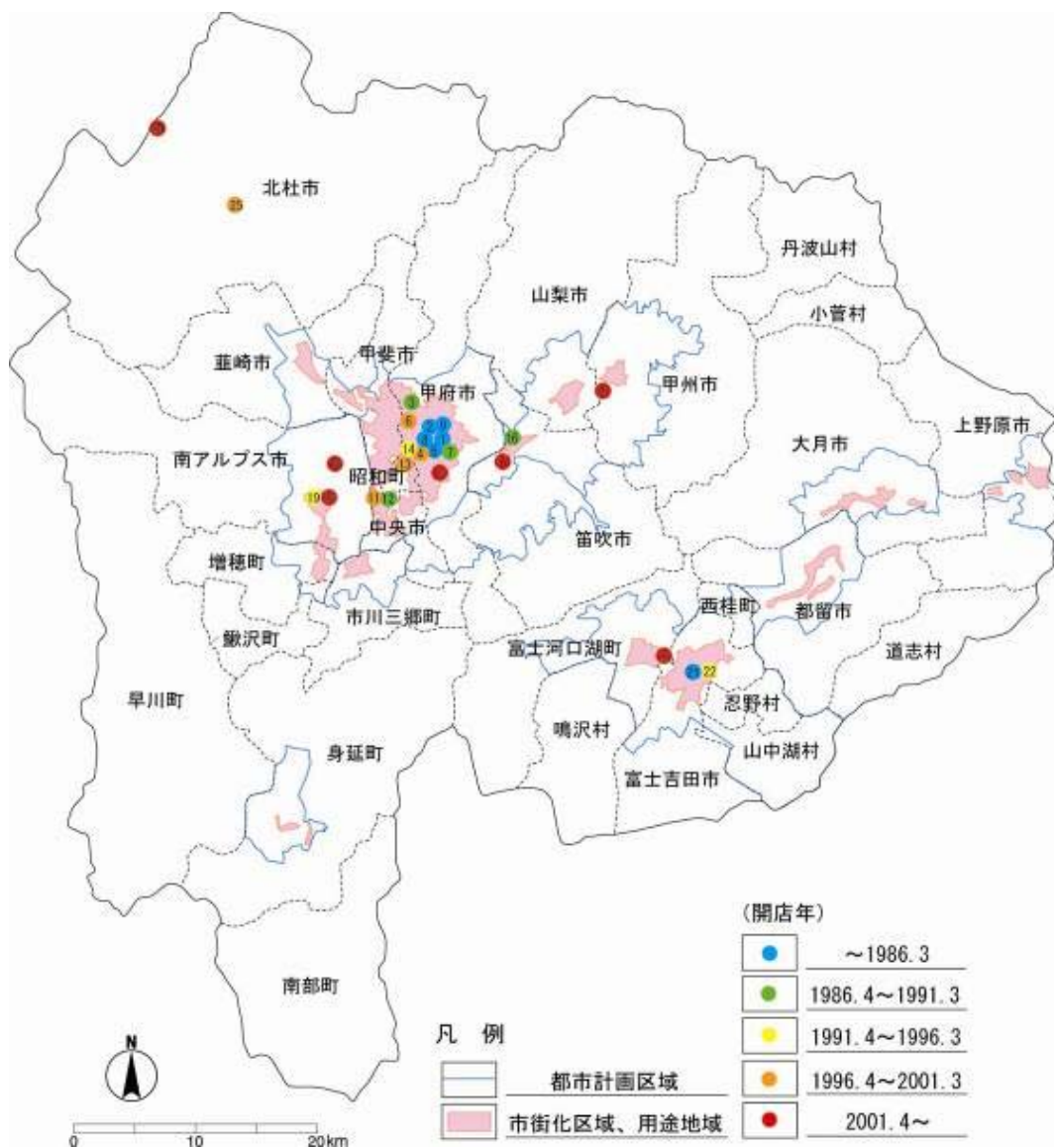


大規模小売店の立地状況

立地別大規模店舗延床面積(㎡)



資料: 全国大型小売店総覧2007





南アルプス市(峡西都市計画区域)の現状



用途外白地での耕作
放棄化と資材置き場等
立地進行

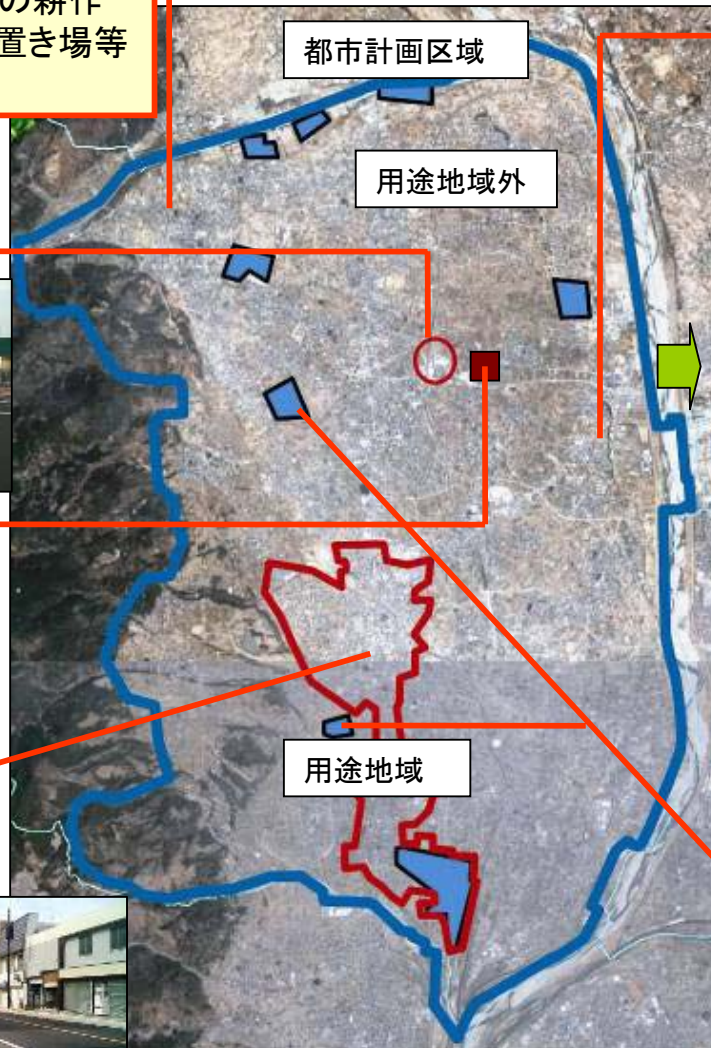
インター周辺地区に大
規模集客施設が立地
(H16)



用途地域外に病院
立地(H11)



用途地域内では人
口停滞。商業地で
は空き店舗が立地
進行。



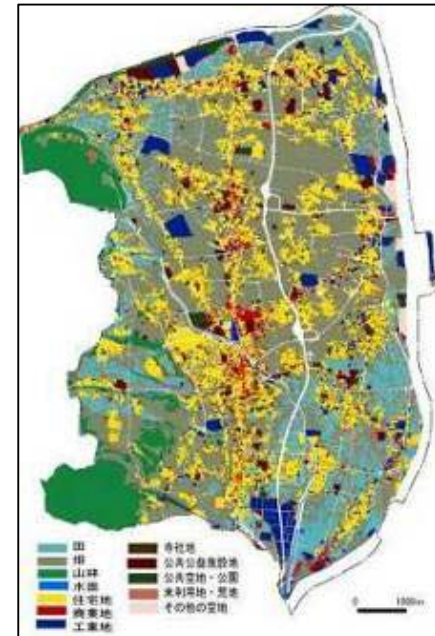
都市計画区域

用途地域外

甲府都市計画区域

用途地域

用途外白地では、分散的
に宅地化が進行



町村合併前よりの分散的
な工業地整備。











甲府盆地周辺の市街地の発展過程

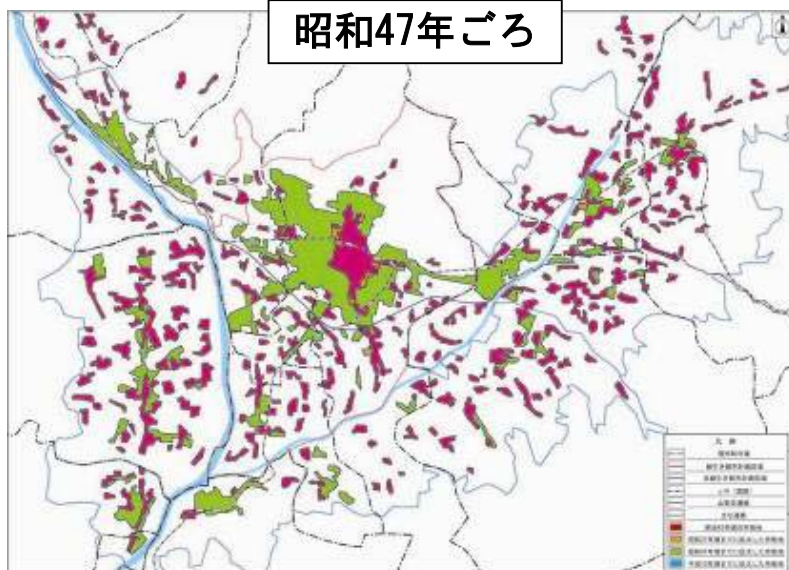
明治43年ごろ



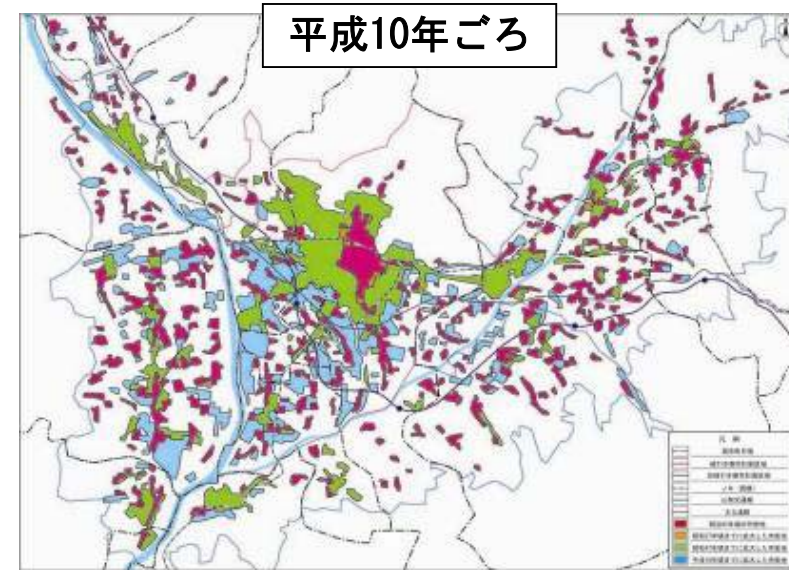
昭和27年ごろ



昭和47年ごろ



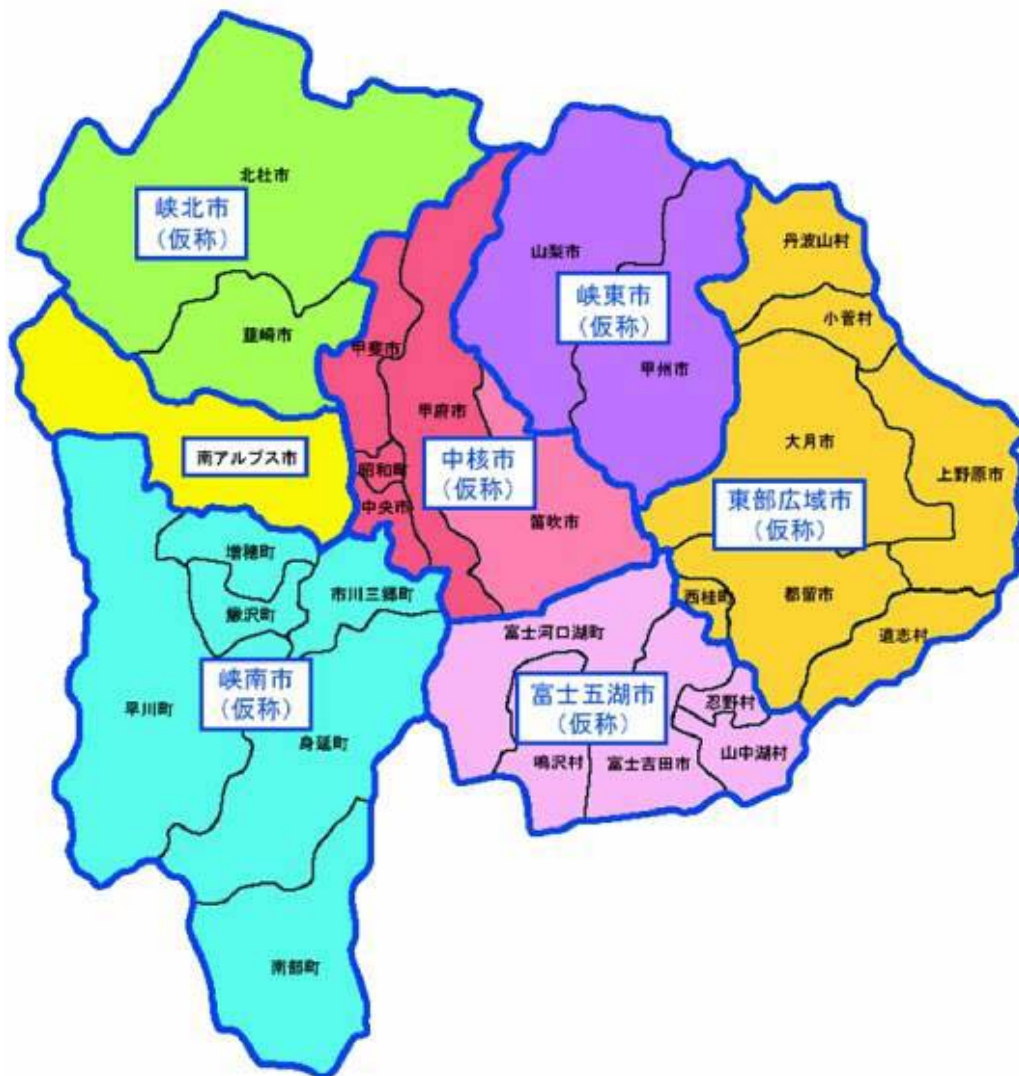
平成10年ごろ



全体計画図

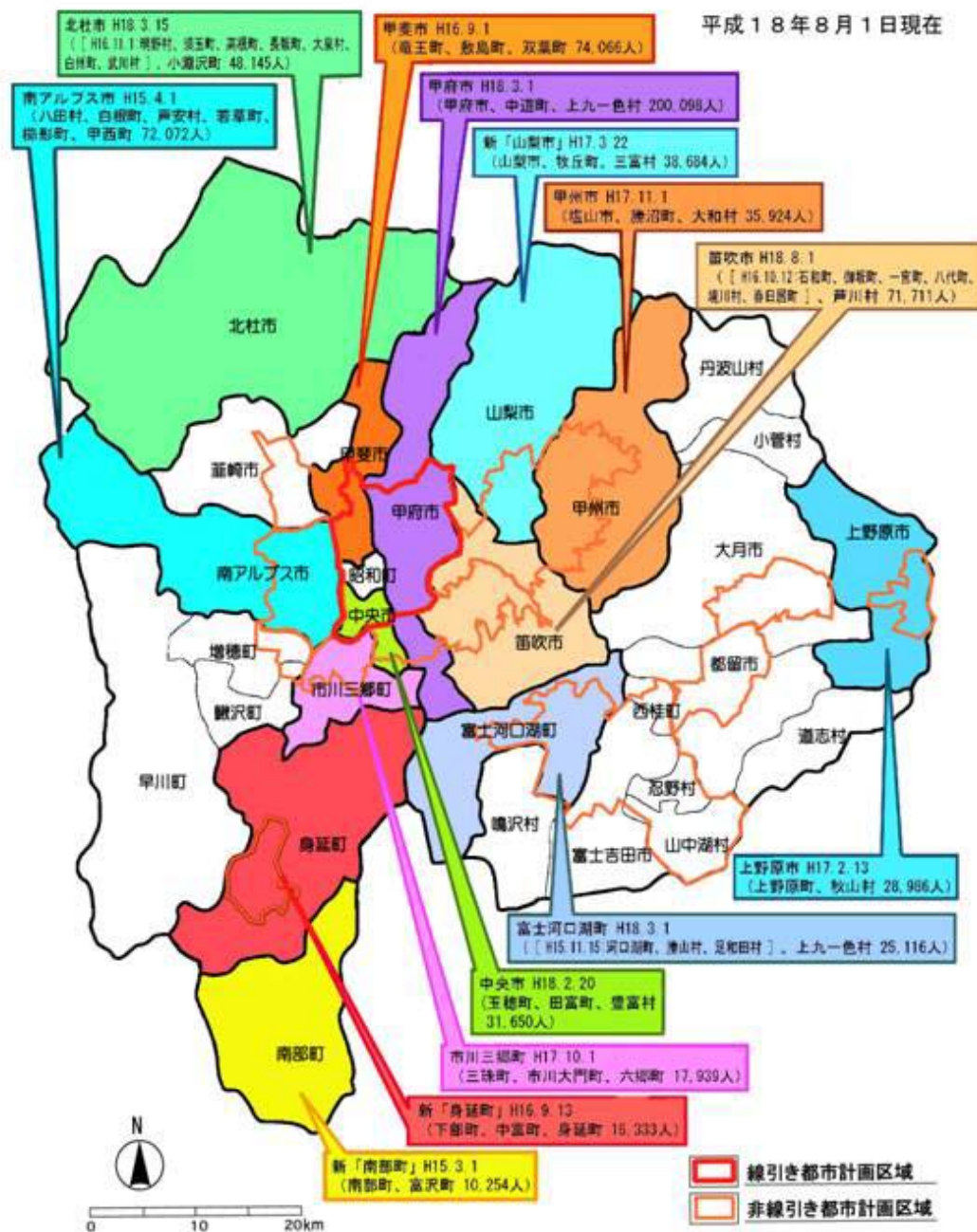


合併の将来目標(7市構想)



市町村合併

平成18年8月1日現在



合併後

28市町村

(13市9町6村)

終わりに一言

□ 計画制度の精度が低すぎる

■ 計画の前提となる情報の精度

- 地籍調査、敷地台帳、都市計画基礎調査、GIS

■ 計画の技術の精度

- ゾーニングの限界、想定外への対応の欠如

■ 計画の理論の精度

- 大都市論と地方都市論のギャップ、コンパクトシティの解釈

□ ホリスティックな計画と事業の必要性

- ≪中心市街地活性化≫ ≪郊外の縮退対応≫ ≪縁辺部の土地利用整序≫から≪ホリスティックな土地利用と空間の再編とそのための事業制度≫へ